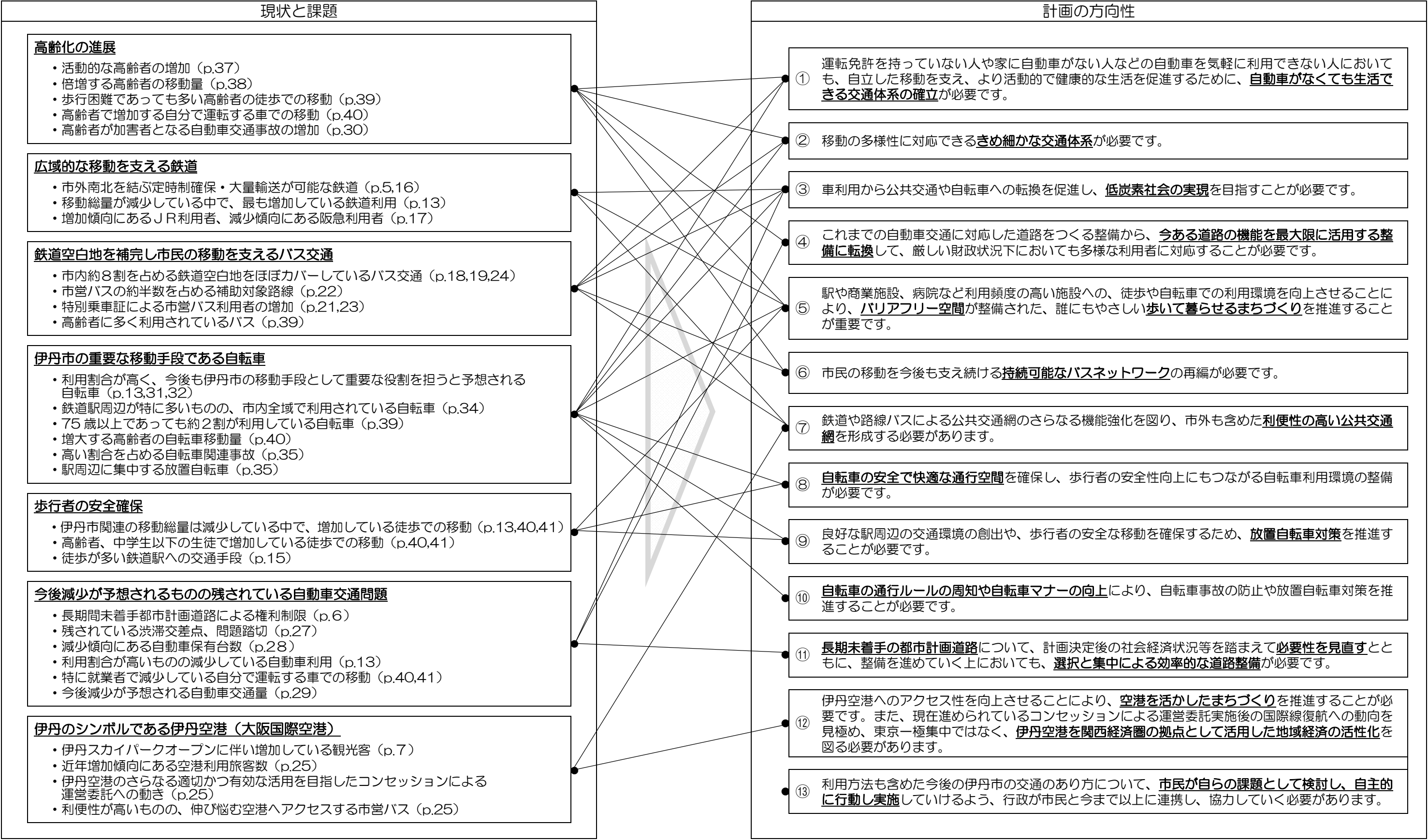




< 交通の現状及び計画の方向性を受けた交通機関別の整理 >

歩行者交通

- ・今後も歩行者の安全確保を最重要課題として、歩行者通行環境整備を推進することが重要です。
- ・駅周辺の歩行空間整備や放置自転車対策、バス停までの歩行空間の連続性を確保することにより、歩いて公共交通を利用しやすい環境を整備することが求められます。
- ・また、それに加えて、歩いて楽しい道路を整備するなど付加価値を高めて市民の健康増進を図るとともに、高齢者や障害者等が安心して外出できるよう段差解消やベンチ設置等を推進していく必要があります。

公共交通

- ・徒歩による移動だけでなく、一定の距離においても便利に移動できるよう、バス交通を中心に利用しやすい公共交通を整備し、市民だけでなく、伊丹市を訪れる人にも利用しやすい公共交通網を整備していく必要があります。
- ・自動車よりも環境にやさしい公共交通の利用促進を図り、環境に配慮したまちづくりを推進していくことが望ましいです。
- ・モビリティ（移動性）の確保だけでなく、高齢者や生徒・学生などの交通弱者対策としての福祉的交通として、公共交通の推進も期待されます。
- ・伊丹空港（大阪国際空港）については、コンセッションによる運営委託実施後の国際線復航への動向を見極め、東京一極集中ではなく、伊丹空港を関西経済圏の拠点として活用した地域経済の活性化を図る必要があります。

自転車交通

- ・伊丹市は平坦でコンパクトな自転車利用に適した地域であることから、地域特性を活かした安全で快適な自転車の利用環境整備を推進し、市民の移動利便性を向上させていくことが望まれます。
- ・自転車とバスの関係については、両者の長所を活かせるよう、自転車とバスを適切に組み合わせ、中心市街地への自転車交通量を調節するとともに、市民の利便性を向上させていく必要があります。

自動車交通

- ・これからの道路整備は、自動車交通の需要追従型の量の整備ではなく、今の自動車交通がさらに快適に移動できる質の向上に向けた、渋滞対策や未整備区間の解消等の整備を、財政状況も勘案し、選択と集中の考え方に基づいて効率的に推進することが重要です。
- ・環境に配慮した低公害車・低燃費車等の次世代自動車の普及・利用促進を行っていくとともに、エコドライブやアイドリングストップ等の啓発を推進していく必要があります。